

授業概要

幼稚園や保育園で日常的に行われている音楽表現について、『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の領域「表現」をふまえながら理論的・実践的に理解を深めるとともに、その指導法を修得する。また、こどもの学びの連続性を確保するためには、保幼少連携の視点が必要となる。幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりとして、保幼少連携の在り方について考える。

授業計画

第 1 回	ガイダンス, 世界の音楽教育メソッドについて知る
第 2 回	手で奏でる・身体で奏でる活動①～手あそび・手話の歌
第 3 回	歌う活動①～童謡をア・カペラで 100 曲歌う
第 4 回	歌う活動②～歌唱活動における保育者の支援と歌唱指導について（模擬授業に向けて）
第 5 回	身近な音素材を聴く活動～身の回りの音素材探し, 音から音楽へ（ICT の活用）
第 6 回	歌う活動③～発声・ボイスアンサンブル
第 7 回	歌う活動④～歌唱指導（模擬授業の発表）
第 8 回	手で奏でる・身体で奏でる活動②～ボディパーカッション・リトミック
第 9 回	楽器の活動①～楽器あそび, 楽器の基本奏法
第 10 回	絵本と音楽～絵本と音楽の関係について考え, 絵本に音・音楽をつける（ICT の活用）
第 11 回	楽器の活動②～太鼓あそび, 太鼓の基本奏法（基本リズム）
第 12 回	歌う活動⑤～わらべうたあそび, 楽器の活動③～太鼓の合奏演習
第 13 回	創作の活動①～太鼓を用いた創作について知る
第 14 回	創作の活動②～創作お囃子を作る
第 15 回	創作の活動③～作曲を練る
第 16 回	実技試験～ア・カペラ 100 曲課題, 楽器の基本奏法, 創作お囃子の発表

到達目標

- ・領域「表現」における音楽表現の扱いについて学び, そのねらいと内容を理解する。
- ・童謡 100 曲（歌）, 楽器奏法 30 種類, 手遊び 20 曲, 音楽づくり・創作能力を修得する。
- ・こどもの音楽あそびについて PDCA サイクル「計画(P)→実践(D)→評価(C)→改善(A)」で実践できる能力を身につける。
- ・世界の音楽教育メソッドについて理解する（レポート）

履修上の注意

- ・保育者はこどもの手本となるため, 実技の技能を高める必要がある。自信をもって, 堂々と表現できるようになるため, 積極的に様々な音楽表現を体験すること。
- ・グループやペアなど仲間と協力して音楽づくりを進めること。
- ・遅刻 3 回で 1 欠席扱いとする

予習・復習

音楽の各技能の向上を目指すには, 日々の練習が欠かせない。必ず練習(予習)をして授業に臨むこと。また, クリアした課題はいつでも演奏できるよう, 継続して練習(復習)すること。さらに, 理論については難しい内容もあるため, 授業内で理解できない内容があった場合は積極的に質問し, 理解を深めること(復習)。

評価方法

- ・実技試験（60%）
- ・レポート（20%）
- ・学習態度及び課題提出（20%）

テキスト

- ・教科書名：『アイディアいっぱい 保育者のための音楽表現』
- ・著者名：金指初恵（編著）
- ・出版社名：大学図書出版
- ・出版年（ISBN）：2013
- *参考図書：『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『小学校学習指導要領』
- *その他, 適宜, 資料を配布します（A4 サイズのスクラップブックを準備すること）